



平成3年（1991年）9月下旬に襲った台風19号、俗に言う「りんご台風」が津軽地方を直撃。民家の屋根や商店街の看板が飛散したりと凄惨な状況でした。なかでもりんご農家では、収穫を控えた主力品種のふじなどがほとんど落下したり、倒木、枝折れなど多大な被害を出しました。

その年の12月1日から、弘前市役所職員有志によって、被害を受けた街と人々の悲しみにくれる気持ちを少しでも温かくしようと始められた市役所前のイルミネーションです。今年で22年も続く、弘前の師走の風物詩となりました。毎年、この時期から年明けの2月28日まで点灯されます。この街を彩るイルミネーションを見るたびに時の流れを感じ、過去の記憶も呼び覚まし、何とか今年も頑張ろうという気持ちを奮い立たせます。

黄綬褒章受章

南黒支部 浅利 勉氏…………… 3

国土交通大臣表彰

青森支部 松野 美智子氏…………… 3

第55回全国大会(いばらき大会)に参加して…………… 4

第7回まちづくり賞を受賞しました。…………… 6

地域実践活動発表会…………… 7

地震被災建築物の「応急危険度判定士」養成講習会開催…………… 7

支部だより

中弘支部 北山 長 幸…………… 8

下北支部 平野 伸…………… 9

YS チャレンジフットサル大会2012に参加して…………… 10

青森支部気密・断熱講習会…………… 10

「建築甲子園」県予選 青森工業高校が優勝…………… 11



南黒支部 地域貢献活動団体

みらいのまちづくり委員会 代表 筧

正明

公益社団法人日本建築士会連合会主催の「第7回まちづくり賞」を受賞いたしました。

まちづくり賞は、より身近になった市民まちづくりのなかで、建築士及び建築士会としての専門性をいかに発揮し、みごとにその役割を果たした活動を支援するとともに、他団体、地域との連携を強化し地域まちづくりのさらなる発展に資するため、すぐれたまちづくり活動等の実績を評価・表彰する制度です。

みらいのまちづくり委員会では、これまでの活動「地域の小学生を対象にしたまちづくりデザインコンテストから重伝建地区での空家再生のまちづくり社会実験の実施」で応募しました。

今年度は、全国から21件の応募があり、日本建築士会連合会《まちづくり賞》応募要項および運営要綱（2012年度）の規程に基づき、平成24年7月に第一次選考会が行われ、第7回まちづくり賞7件に「みらいのまちづくり委員会」が選ばれました。その後、平成24年10月18日、全国大会（水戸大会）にて開催の「第7回まちづくり賞発表会&公開選考会」において、プレゼンテーションを行いました。残念ながら、大賞、優秀賞には選ばれませんでした。が、これまでの活動が評価されて大変嬉しいです。

活動の概要

青森県建築士会南黒支部 地域貢献活動団体「みらいのまちづくり委員会」では、2001年から地域の小学生を対象にまちづくりデザインコンテストを実施してきました。2004年の事業『家族で考える私の街のゴミステーション！コンテスト』では、優秀作品を製作し、黒石市こみせ通りへ設置し、子供達へ自分達のアイデアが実現化し、まちづくりへ参加することができることへの体験活動も行いました。2005年からは北海道建築士会宗谷支部のご協力で、オホーツク海の流氷を小学校へ届け、流氷環境授業を行っています。2007年からは総合学習・まちづくり授業を行っています。

2009年には青森県建築士会南黒大会で支部対抗「松の湯再生ワークショップ」を行い、市民投票を行いました。（小学生のデザインコンテストも連動した事業）

2010年には長期優良住宅等推進環境整備事業で「こみせ」と「旧松の湯」再生プロジェクト～重要伝統的建造物群保存地区内の空き家の再生を通じた市民参加まちづくりの実践～を行いました。これまで、11年連続で小学生のデザインコンテストを行ってきました。